

様々な視点で発想・発信するミュージアムショップの取り組み

経営管理グループ アテンダントチーム 青野 佐和子

概要

浜松科学館のミュージアムショップは、1階無料ゾーンにあり、いつでも誰でも利用できる。科学館の展示や事業と一体的に企画・運営し、科学への興味・関心を高められる商品を販売するほか、地域のアンテナショップとして、浜松の企業や事業者の商品も積極的に紹介している。また、来館者が最後に立ち寄り、商品を購入することで、科学館での感動や学んだ知識を持ち帰って再確認する役割を担っていると考える。誰からも愛されるショップ運営を目指した様々な実践の中で、2023年度に実施した主な取り組みを報告する。

1. はじめに

当館のミュージアムショップは、多種多様なお客様のニーズに応え、科学と遊び心を融合させた豊富な品揃えが特徴である。

館内イベントとの関連商品や地元企業のオリジナル商品を積極的に販売することは、科学を楽しむとともに、地域に開かれた科学館を目指す当館のミッションに貢献していると考えます。

次項からは、チームで創意工夫を凝らした実施例を紹介する。



験を楽しみに何度も来店される方もいて、好評を得ている。購入を検討されている方とのコミュニケーションの場にもなり、商品認知を高める上で効果的な方法だと思われる。



2. 国立天文台「望遠鏡キット」実演販売

当館の主要コンテンツの一つであるプラネタリウムを観覧し、天体観測等に興味を持たれる方も多いため、国立天文台がプロデュースした組立式望遠鏡キットの販売を開始した。

使用イメージを購入前に体感してもらえるように、店頭にて観測体験を随時実施している。

館内2階の中央階段付近に天体の画像を貼り、望遠鏡で覗けるようにセットした。観測できる天体を不定期で変更しているため、リピーターのお客様にも繰り返しアプローチが可能である。他の商品と比べて、高額であるため、即決購入への誘導としては難しいが、体

3. 「夜の科学館」や特別展等のPOPUPコーナーを設置

各イベント担当者のアドバイスを参考に、イベントに関連した商品をPOPUPすることで、お客様がその日の思い出を持ち帰れるよう厳選した商品を展開した。ディスプレイもアイキャッチ効果を意識しSNS発信も積極的に実施した。

2023年度は、NHK大河ドラマ「どうする家康」放映に連動し、家康グッズや地域企業商品を販売した。



大型映像「海竜王モササウルス」に連動した商品は、入荷の度すぐに完売していた人気商品であった。



【商品②】（武藤染工株式会社）

・染色化学体験キット「はさんで染める△ふじさん」
 浜松注染そめで有名な地元の染工場が作った染物体験キット。富士山をデザインしたパッケージで、観光客にも人気である。

4. 地元企業・事業者との連携

当館では、地域のアンテナショップとして、地元企業や事業者の商品を積極的に紹介している。2023年度は、新たに3社の商品を販売した。2019年から計15社の商品を継続して扱っている。

【商品①】（株式会社 栄商会）

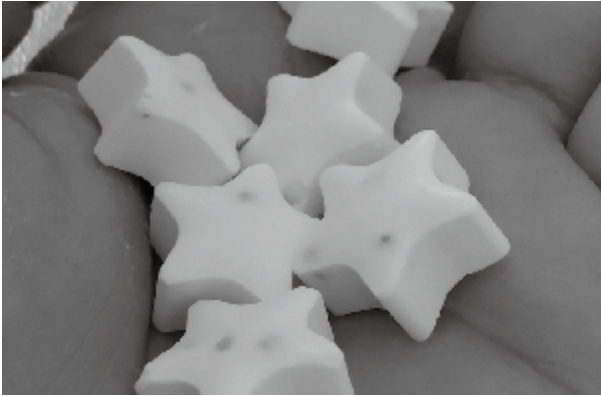
- ・浜松八景・遠江八景クロス
- ・モササウルスぬいぐるみ大
- ・モササウルスぬいぐるみキーチェーン



【商品③】（河守食品株式会社）

・スターラムネ

地元老舗菓子店の夏季限定商品。星型が当館のイメージにもマッチし、小さな子どもでも食べられる優しい味のラムネだ。



5. 「買い物学習の場」として

親子遠足や家族で来館する小さな子どもの利用が多い当館では、お客様からの声を活かし、「買い物学習」を実施している。

小さな子どもがレジに来た際に、買い物の際に生じる会話やお金の出し方、お釣りのもらい方などを普段よりゆっくりはっきりと子どもの目線に合わせて行うようにしている。また、お小遣いの範囲内で買い物がしやすいように、安価な鉛筆や消しゴムなどの商品も多く取り揃えている。子ども達の、無事に買い物ができた時の達成感溢れる表情を見ることができる、やりがいを感じる取り組みである。

6. NEW オリジナルグッズの誕生

年度ごとに、オリジナルグッズの制作販売をしている。お客様に当館への愛着を感じていただけるよう、構想段階から時間をかけて進め、2023年度はオリジナルキャラクターのマグネットが誕生した。

公式キャラクターの「コンパスくん」に、職員がデザインをした「まるだしくん」、「ブッソラちゃん」の3種類。当館で人気のオリジナルグッズとして展開している12星座のイラストアイテムが定番化してきたため、キャラクターデザインのアイテムで新鮮味を取り入れた。好きなキャラクターのアイテムをコレクションしたり身につけたりする「推し活」も楽しめるアイテムだ。中でも、「まるだしくん」は20代位の女性にとっても人気がある。ミュージアムショップの花形であるオリジナルグッズを、今後もグレードアップさせていきたいと思う。



7. おわりに

お客様にとって、唯一無二のミュージアムショップになることを目指して、今後も新しいチャレンジやアップグレードを継続して取り組んでいきたいと思う。また、お客様のミュージアムショップに対する興味・関心を高め、科学館の集客に貢献できるよう、お客様アンケートの実施やSNS投稿に対するリアクションを反映させるなど、次年度ではお客様参加型の商品展開やサービスを提供していきたいと思う。